

お客様各位

「Rapport」のインストールを騙るウイルスによる不正送金について

平成28年1月初旬、他県におきまして、金融機関が推奨する無料アンチウイルスソフトウェア「Rapport（レポート）」のインストール画面を騙るウイルスを使用した不正送金が発生いたしました。また、検出されたウイルス「Rovnix(ロブニクス)」により、複数の国内金融機関URLが監視しされていたことが明らかになりました。

本件におきまして、栃木県の金融機関に関するURLは監視されておりませんでした。今後監視対象とされるおそれが十分ございますので、インターネットバンキングをご利用のお客様につきましては、より一層の注意をお願いいたします。

被害時の状況

1. ブラウザの「お気に入り」から金融機関のトップページを表示
2. インターネットバンキングの「ログイン」画面へと遷移したところ、通常の「ログイン」画面と思われる画面が表示
(実際にはWebインジェクションに改ざんされた画面)
3. 当該ログイン画面において、ID、パスワード、ワンタイムパスワード等を入力してログインボタンを押下
4. 「Rapport（レポート）の登録」画面が表示
(「×（閉じる）」ボタンのない、偽りのインストール画面)
5. インストールを開始したところ、プログレスバーが4段にわたって表示され、約20分間、その状態が継続
6. 画面が「システムメンテナンス中」となりフリーズした状態が継続
7. 登録メールアドレスに送金通知が届き、被害を認知
(当該メールアドレスも不正アクセスされていた)

以上